

富士通(株)

 は動画で説明します

No.	技術シーズ	特許番号	内容
1	印刷画像へのコード埋込技術	特許第5310477号	・印刷物とデジタルコンテンツをリンクする技術。 ・印刷画像中に人の目には判りにくいように色処理をしてコードを埋め込み、スマホを使って読み取ったコードに対応したコンテンツを表示。 ・許諾実績：10社
2	スマートクリップ技術	特許第6582693号	・タスク名やメタデータ等をアプリで管理できる技術。 ・クリップで書類等をはさむとタスクを登録、外すとタスクを削除し、時間がくると、音や光で注意喚起する。
3	顔画像からの脈拍計測技術	特許第5915757号	・顔を撮影した動画から本人の脈拍を計測する技術。 ・非接触で高精度に測定できることが特長。画像に含まれる皮膚の微小な明るさの変化から脈拍を計測する。
4	非接触バイタルセンサー(心拍、呼吸検知)	特許第5935593号	・人体に微弱なマイクロ波を照射し、その反射波の変化量とセンサで取得した人体の動きから、「呼吸」、「心拍」を識別して計測する技術。 ・活用事例としては、PCの画面上部にマイクロ波送受信部を配置して、PC操作者の心拍等を計測できる。
5	3D デジタイジング技術	特許第6903987号	・レーザースキャンを用いて、現場環境を3Dデータ化する技術。 ・スキャナはハンドキャリア型。短時間で全方位3D計測でき、複数のデータ統合が可能。法面計測、トンネル計測で活用できる。 ・許諾実績：1社
6	3D 重畳(設計製造物診断)技術	特許第6661980号 特許第6866616号	・立体構造物と3D CADモデルとのズレを視認し易くする技術。 ・立体構造物の加工位置のズレなどの製造不良を簡単に発見できる。3次元CADと製造物写真の重ね合わせで不良を簡単に発見できる。製造不良を即座に発見し、後工程での手戻りを撲滅できる。
7	筐体用板状部材、部材製造方法	特許第5062367号	・木製板を重ねてプレス成型する際の割れを防ぐ技術。 ・木製板を屈曲させる箇所、気泡状の中空孔を有する樹脂シートを積層し、樹脂シートごと成形することで、木製板の割れを防止。
8	木製部材、筐体製造方法	特許第5594090号	・木製部材のプレス成型時に割れや亀裂が発生するのを防止する技術。 ・樹脂シートと木製板を重ね合わせて金型でプレス成型し、成型後に、樹脂シートを剥離することにより、プレス成型の歩留まりを向上。
9	筐体、筐体製造方法、電子機器	特許第6221559号	・木製シートからなる筐体の、木の風合いを確保する技術。 ・従来は木製シートに熱可塑性樹脂を含浸し加熱成形するため、表面に樹脂の光沢感が表れていたが、本技術では木製シートにグリオキザールを含む薬剤を含浸させることにより、木の風合いを確保しつつ強度を向上可能。
10	ラメ模様の加飾法、加飾構造	特許第5939058号	・大きなラメ模様による加飾技術。 ・対象物表面に、①アルミ粒子等を含むメタリック塗料と、光硬化性樹脂、溶剤等を含む塗料(クラック層)を塗布積層、②クラック層の溶剤を揮発させて表層に被膜を形成、③紫外線照射で強制的に塗膜を収縮させ、皺を形成してラメ模様とする。
11	芳香発散技術	特許第5595698号	・小物アクセサリなど携行品に香りをつける技術。 ・香水やアロマオイルなどを吸収するチップとそれを取り囲む構造の工夫で、薄型ながら香りが発散しやすい点が特長。 ・許諾実績：7社
12	水没防止技術	特許第5272783号	・水没させてしまった物品(ドローン、スマホなど)を浮上させる技術。 ・水圧により弾性隔壁が押され、それを起因として2種類の薬剤を混合させガスを発生させる構造。このガスで浮き袋に浮力を生じさせ物品浮上を可能にする。 ・許諾実績：1社

富士通(株)



は動画で説明します

No.	技術シーズ	特許番号	内容
13	クーポン配信プログラム	特許第6432391号	・来店日時に応じたクーポンを配信するクーポン配信プログラム。 ・来店日の繁忙状況に基づいて時間帯に対応した割引率を決定しクーポンを発信 ・店舗の時間帯ごとの来客数の平準化を図ることができる。 ・許諾実績：1社
14	低カリウム野菜栽培技術	特許第6418347号	・腎臓病患者等に好適な低カリウム野菜（レタス・ホウレン草等）の水耕栽培技術。 ・ウレタンスポンジ製の培地を乾燥させる工程を設け、藻や細菌の繁殖を抑え栽培対象への付着を防ぐ。また、液肥を室温よりも低温とすることにより、商品価値を低下せせる栽培対象のピンクリブなどを防ぐ。 ・野菜本来の甘味を出す独自の液肥配合（ノウハウ）。
15	3Dレーザセンサーの画角制御技術	特許第6753107号	・3Dレーザセンサーから人物までの距離に応じて、人物の周辺のみ に走査範囲（画角）を絞る制御を計測終了まで動的に繰り返す技術。 ・人が近くても遠くても同じ解像度を維持する点が特長。